

安全のために

感電・漏電・火災等の事故や、故障の原因となりますので、この取付説明書に示した注意事項を必ずお守りください。

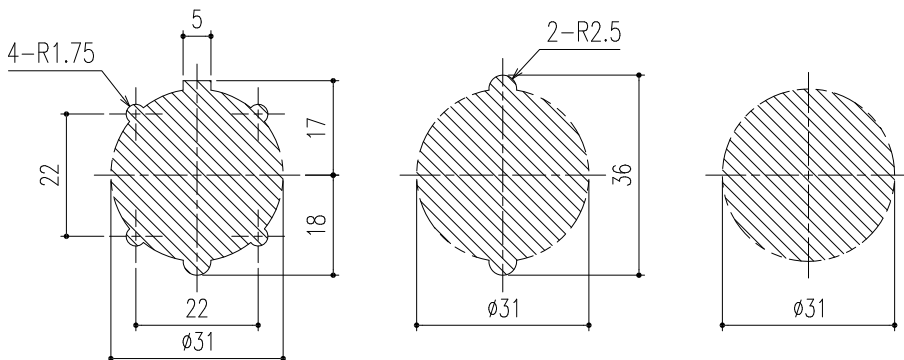
- 雨がかりの場所の設置では、水が侵入しないように三方コーキング（上、左、右）をおこなってください。【防滴仕様】
- 専用制御盤（CCU）からの供給電源以外は使用しないでください
- 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締めすぎによって破損する場合がございます。
- 結線作業前に、必ず専用制御盤（CCU）のメイン電源を落としてください。
- 濡れた手で作業は行わないでください。
- 製品の分解・改造はしないでください。
- 本体へ薬品等をかけないでください。

パネル付け仕様（TPFRD-01P）

1 パネルの切り欠き

切欠き図に従ってパネルに切り欠き穴をあけて下さい。

※図示3種類の切欠きに対応可能です。



パネル切欠図

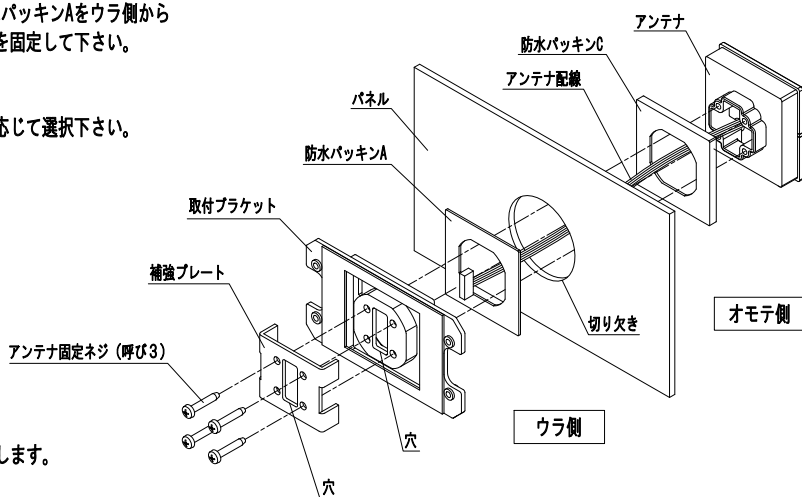
2 アンテナの取り付け

アンテナと防水パッキンCをオモテ側から、取付ブラケットと補強プレートと防水パッキンAをウラ側からパネルを挟み込む様に取付けし、アンテナ固定ネジ（タッピンネジ）でアンテナを固定して下さい。

※アンテナ配線は各製品の穴を通して下さい。
 ※取付ブラケットは縦、横どちらでも取り付け可能です。パネル内のスペースに応じて選択下さい。

パネル厚対応表

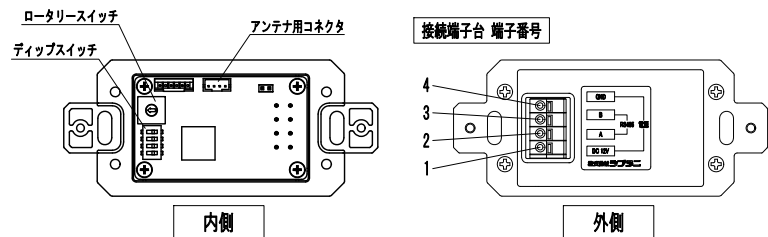
パネル厚		アンテナ固定ネジ
0.5 以上	5 未満	呼び3×14 ⊕ナベ タッピン (付属品)
5 以上	10 未満	呼び3×18 ⊕ナベ タッピン (別途手配)



3 結線及びリーダボックスの取り付け

制御盤からの接続配線を整端処理の上、リーダボックス背面の接続端子台へ接続します。接続完了後、ロータリースイッチを指定のゲート番号に合わせ、アンテナ配線をボックス内のアンテナ用コネクタに結線し、ボックス固定ネジにてリーダボックスを取付ブラケットに固定して下さい。

※ゲート番号の設定は、現場のシステム系統図を参照してください。
 ※リーダの音量設定を変更したい場合は、ディップスイッチの切替を行って下さい。

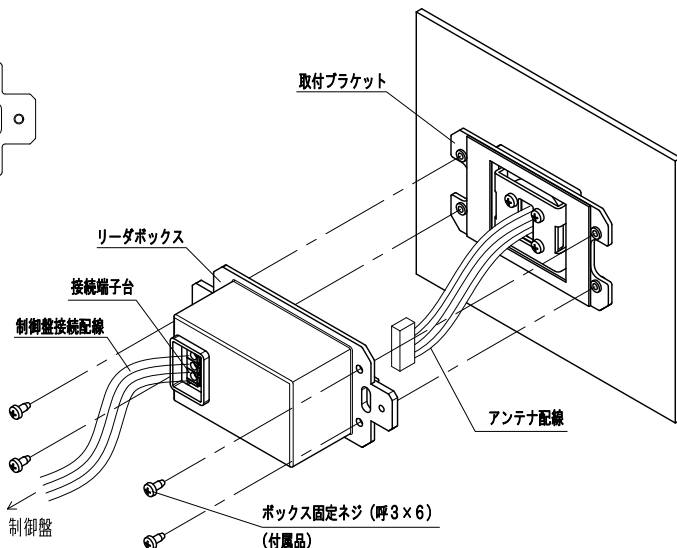


スイッチ設定一覧表

ロータリースイッチ	アドレス1~8 (出荷時1)			
	No.1	No.2	No.3	No.4
ディップスイッチ	常時OFF		OFF	常時OFF
			音量中 (出荷時)	
			ON	
			音量大	

接続端子台詳細

端子番号	信号名
1	DC12V+
2	RS-485A
3	RS-485B
4	GND



壁面取り付け仕様 (TPFRD-01D)

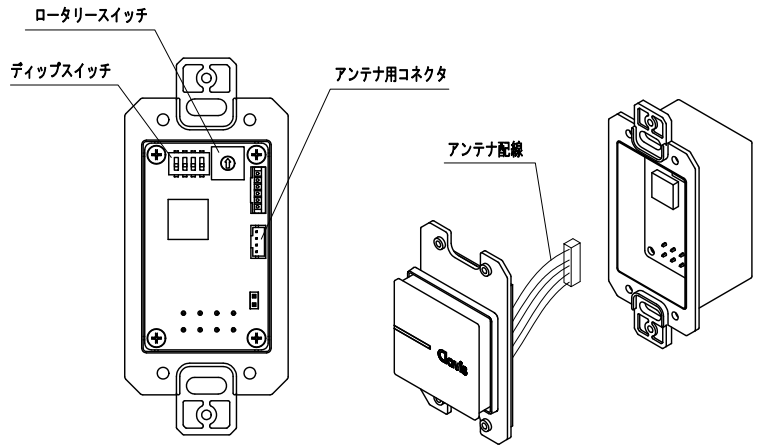
1 アンテナ配線の結線

リーダボックス内のロータリースイッチを指定のゲート番号に合わせ、アンテナ配線をリーダボックス内のアンテナ用コネクタに結線して下さい。

※ゲート番号の設定は、現場のシステム系統図を参照してください。
※リーダの音量設定を変更したい場合は、ディップスイッチの切替を行って下さい。

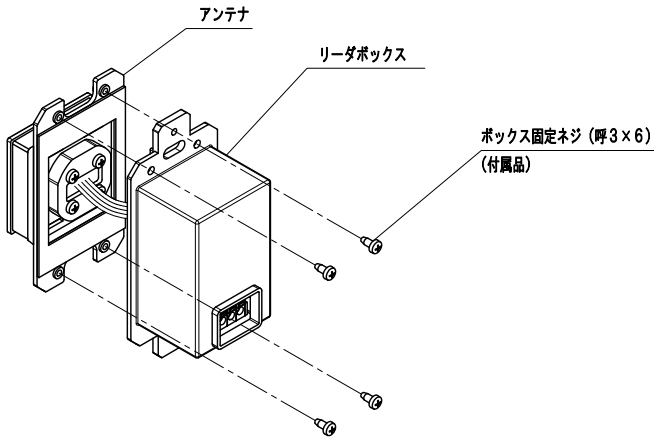
スイッチ設定一覧表

ロータリースイッチ	アドレス1~8 (出荷時1)			
	-	音量設定	-	
	No.1	No.2	No.3	No.4
ディップスイッチ	常時OFF		OFF	常時OFF
			音量中(出荷時)	
			ON	
		音量大		



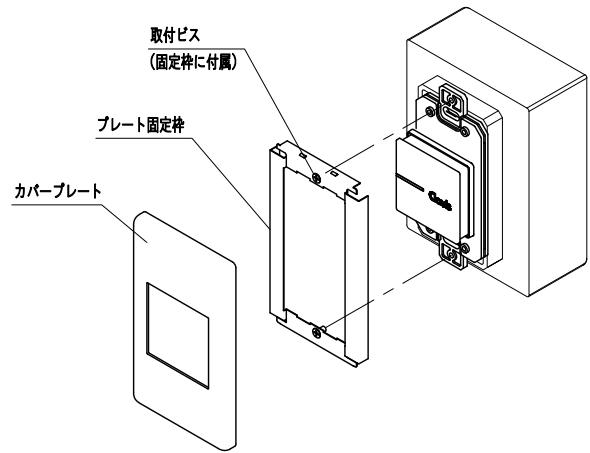
2 アンテナとリーダボックスの固定

アンテナとリーダボックスをボックス固定ネジで固定して下さい。



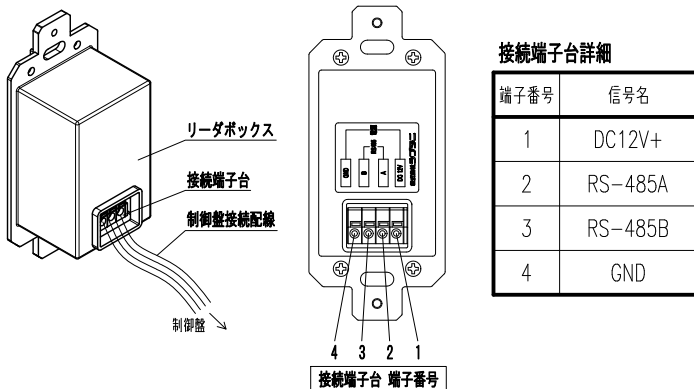
5 カバープレートの取り付け

プレート固定枠を取付ビスで本体に固定し、カバープレートをプレート固定枠に押し込んでおはめてください。



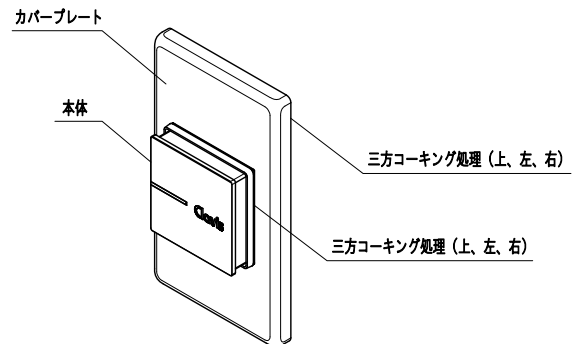
3 制御盤接続配線の結線

制御盤からの接続配線を整端処理の上、リーダボックス背面の接続端子台へ接続します。



6 コーキング処理

直接雨が掛かる場所等に接地する場合は、カバープレートと本体の隙間、カバープレートの周囲にコーキング処理を行って下さい。



4 本体の取り付け

本体取付ネジ (別途手配) で本体をスイッチボックスに固定して下さい。

